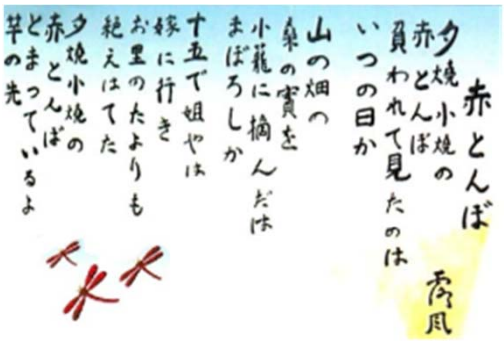
JFEトンボみち
ファンクラブ通信　2015年8月号

赤とんぼの復活を目指して
第26回全国トンボ市民サミット たつの大会



♫夕焼け小焼けの　赤とんぼ・・・♫と詠んだ三木露風が生まれた兵庫県たつの市で開催された今年のトンボサミット(7月19日、20日)。赤トンボの代表格であるアキアカネの減少は全国的な傾向ですが、たつの市でも田んぼを群れ飛ぶアキアカネの姿が、ほとんど見られなくなってしまったのです。

そこで、童謡「赤とんぼ」の里を復活しようと、「たつの・赤トンボを増やそう会」が平成20年に発足しました。この会では、アキアカネの人工飼育から、農家と協力して田んぼでの自然繁殖へと取り組んでいます。トンボに優しい田んぼから収穫されるコメは、人間にとっても安全・安心で、個性・特徴がある「たつの赤とんぼ米」として今年の秋から本格販売されるとのことです。たくさんのアキアカネが、たつのに帰ってくるのもそんなに遠いことではないと期待しましょう。

サミットのプログラムは、1日目にフィールド見学、市内観光、交流会、2日目に6つの講演が行われました。大会会場・宿泊ともに、たつの市を一望できる高台に建てられた国民宿舎「赤とんぼ荘」。サミットを通して、今年もトンボと自然を愛する多くの方々とお会い出来てたいへん有意義な2日間でした。なお来年は、和歌山県海南市で10月に開催されます。

さて、京浜臨海部と内陸部における赤トンボの状況はどうなのか、今年のトンボ調査の結果が待たれます。(銀)

▲人工飼育で羽化したアキアカネを放虫

▲アキアカネを育む農法の研究フィールド

▲播州の小京都といわれる龍野の大手門

▲JR姫新線の車体も赤トンボ

『トンボはドコまで飛ぶか調査2015』に今年も参加！

今年も8月3日(月)から一週間、鶴見区と神奈川区の京浜臨海部に点在する緑地やビオトープで「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」主催のトンボ捕獲調査が行われました。JFEトンボみちでは8月3日、4日、6日の3日間行われ、5種類、57頭が新規捕獲され、マーキングの後、再び大空へと放たれました。

←ギンヤンマ♀
(8月4日)

←ファンクラブの山口くん、ショウジョウトンボ♂を見事捕獲！(8月3日)

調査の様子(8月4日)
今年もファンクラブの方が応援に来てくれました。

調査実績(3日間で)	今年	昨年
シオカラトンボ	43頭	42頭
ショウジョウトンボ	10頭	17頭
ウスバキトンボ	2頭	2頭
チョウトンボ	0頭	2頭
オオシオカラトンボ	1頭	1頭
ギンヤンマ	1頭	0頭
トンボみちの合計	57頭	64頭

【シリーズ】 トンボみちの仲間たち

7月25日(土)のファンクラブ活動の様子です。 (撮影:山田さん)

ぼくも草刈りのお手伝い

サツマイモ畑づくり

センニンソウが咲きました

夏のトンボ池

チョウトンボ

瓢箪ではなく南瓜

ファンクラブのみなさん

活動予定 ※雨天は1週間延期

今月： 8月22日(土) 8時～10時
来月： 9月26日(土) 9時～11時

事前の申込みは不要です。誰でも参加可能！

公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ　検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2015年8月号
発行日：2015年8月19日
発行者：トンボみちファンクラブ通信事務局
事務局：〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
JFEエンジニアリング(株)総務部 施設管理室
Tel045-505-7447、Fax045-505-6546

ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。

京浜の森ロゴマーク

ファンクラブ通信に使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率１００％です。